

平成24年度 事務事業評価シート（平成23年度実績分）

事務事業名	鏡小浜・土佐山弘瀬地区簡易水道の整備		部課コード	2404	予算事業科目		事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	水道局	部局長名（2次評価者）	橋詰 辰男		個別事務	全部	-			
	担当部署	給水課	所属長名（1次評価者）	小崎 則和							
	電話番号	088-821-9236	E-mail	240400@city.kochi.lg.jp							

1 事業の位置付け

予算科目（平成24年度）	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	水道事業会計	大綱	05	まちの輪							政策基本方針
款	1 資本的支出	政策	04	安全安心の都市空間整備							
項	1 増補改良工事費	施策	06	水道ライフラインの強化							
目	2 簡易水道施設改良費	区分	05	簡易水道施設改良事業							

本市は、地理的な要因や急速な都市化の進展により、しばしば浸水や山・崖崩れなどの災害を経験してきました。また、次の南海地震は、海溝型地震の長期評価（2010（平成22）年1月1日算定基準）において、今後10年間に10%から20%の確率で、また、今後30年間に60%程度の確率で発生すると予測されています。安全は都市の基本的な条件であり、次の南海地震への備えをはじめ、合併により広がった市域の防災対策や消防・救急体制の強化を進めます。また、市営住宅の整備や交通安全対策、水道水の安定供給を図るなど、市民が安心して暮らせる快適な都市の実現をめざします。

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他（計画、党書等）	高知市水道事業基本計画2007（基本施策：1-8簡易水道事業の統合・整備）、高知市過疎地域自立促進計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	鏡小浜及び土佐山弘瀬地区簡易水道施設を利用している市民		
意図	どのような状態にしていくなのか	老朽施設を更新し、安全安心な給水体制の強化を計る。		
手段	事業実施体制等	浄水課技術係の支援を受けながら給水課維持係が施設整備を進めている。	事業開始年度	平成22年度
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	国庫補助を活用しながら、施設整備事業の推進		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	施設全体改良事業費	事業費の消化率	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	施設全体改良事業費	目標	5%	32%	31%	○全体事業費に占める年度内事業費を、消化率%で表示	
		実績	5%	32%				
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	0	37,869	227,613	221,343		
		財源内訳	国費 (千円)		8,260	62,577		64,329
			県費 (千円)		0	0		0
			市債 (千円)		22,500	71,800		64,300
			その他 (千円)	0	0	71,800		64,300
			一般財源 (千円)	0	7,109	21,436		28,414
	翌年度への繰越額 (千円)		0	0	0			
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	7,400	14,400	18,000	18,500		所属長0.10+課長補佐0.10 +係長0.40+土木担当0.7×2人 +設備担当0.5人
		正規職員 (千円)	7,400	14,400	18,000	18,500		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	1.00	2.00	2.50	2.50		
		正規職員 (人)	1.00	2.00	2.50	2.50		
		その他 (人)						
	総コスト=①+② (千円)	7,400	52,269	245,613	239,843			
市民1人当たりコスト (円)	22	154	724		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数 (人)	340,695	339,714	339,130					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

鏡小浜簡易水道は平成26年度に土佐山弘瀬地区簡易水道については平成28年度に上水道に統合予定である。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 12 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	①総合政策「05-04-06」で実現を目指す施策として、位置づけられている。 ②安定供給の要望は高いが、中山間地域では、人口流出が続いており、水需要は横ばいあるいは減少傾向にある。
	② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	5.0	③工事は順調に進捗している。 ④事業内容は妥当である。
	④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	⑤一般的な公共工事であり、アウトソーシングはできない。 ⑥最終的には、上水道事業への統合が見込まれているが、統合後もコストの削減は望めない。
	⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	⑦受益者は、簡水区域内給水市民全員であり、公平性は高い。 ⑧国庫補助事業を活用しており、経費は妥当である。
	⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	19.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 13 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	一次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項